

平成29年度 屋代南高等学校評価表(中間評価)

学校教育目標			
<p>校訓:誠実と自発 誠実とは人間形成の基本的要素である。真理を愛し、自らを律し、他を尊敬する豊かな人間性もまたこの誠実に基づくものであることを思い、これを培うことに努力する。 人間の尊厳は創造にある。創造性の源泉はまた自発にある。自発的であってこそ真に自立性のある活動が営まれる。これにより、学芸の研究、道德の実践、社会活動等はおのずから生気を帯び、活気に満ちた行動となって現れる。平和で幸福な未来を創造していくべき高校生にとって、この自発の精神こそは欠くことのできないものであることを自覚させ、これを助長するよう努力する。</p> <p>教育方針 ①一人ひとりを尊重する教育を実践する ②自主性を重んじ個性の伸長を図る ③豊かな情操と自立の精神を育てる ④地域との連携を深め、郷土を愛する心を育てる</p>		<p>教育方針 ①一人ひとりを尊重する教育を実践する ②自主性を重んじ個性の伸長を図る ③豊かな情操と自立の精神を育てる ④地域との連携を深め、郷土を愛する心を育てる</p>	
重点目標(中・長期的目標)		総合評価	
<p>社会人基礎力の獲得に向け、学校生活や地域と連携した様々な活動を通して、健康で豊かな心を持った生徒の育成を目指す。</p>			
今年度の重点目標		評価(成果と課題)	
1	学力の向上に力点を置いた学習指導を展開し、希望する進路実現を目指した、きめ細やかな指導を実践する。		
2	日常の生活指導を通じて、生徒一人ひとりの規範意識を高め、自覚と責任ある行動の涵養を促すとともに、人権を尊重する心を育て、いじめのない安全で安心な学習環境の確立を目指す。		
3	生徒会活動やクラブ活動の活性化と充実をはかる。あわせて、外部との交流も積極的にを行い、地域から信頼される学校づくりを目指す。		
分野	評価項目	評価の観点	成果と課題
教育活動	基礎学力の向上	1 少人数学級・講座編成の利点を活かし「わかる授業」を展開することができたか。また、授業内外で「学び直し」の機会を継続的に設け、基礎学力の定着を図ることができたか。	少人数の講座編成や習熟度別指導を昨年度に引き続き一部で導入し、細やかな指導を行うことで「わかる授業」の実践を探究した。各学年を中心に授業時間の他に朝や放課後に補習を行い、授業やテストに繋がる課題を休業中の家庭学習として各教科より出すことで、基礎・基本となる事柄を繰り返し学ぶ機会を設けた。今後は、より「わかる」と実感できるように電子黒板等ICT機器の活用法や主体的・対話的で深い学びの方法等を検討していく。
	より良い学習態度の定着	1 生徒が自ら考え、意欲的に取り組めるよう、支援することができたか。また、生徒一人ひとりが落ち着いて学習活動に集中できるよう、指導することができたか。 2	生活指導係を中心に学習態度や遅刻、スマホの扱いについて明確な決まりを定めることで、落ち着いて学習に取り組める環境が年々整っているが、授業に対して受身の姿勢の生徒も多い。意欲的な学習態度の定着に向けて、今の学びが将来の自分や社会とどのような繋がりを持つのか意識させ、興味・関心を引き出し、具体的な目標設定をさせていく必要がある。
	個に応じた指導の充実	1 進路先で対応できる実力の向上を目指し、指導することができたか。また、個々の進路希望や実力に応じ、進路実現のための細やかな指導を行うことができたか。	進路指導係や学年、教科が協力し、小論文指導、進学や就職等の進路希望に応じた補習を実施し、各種検定試験や校外模試の積極的な受験を勧めることを通じて、進路実現への意識を高めるとともに実力の向上を目指した指導を行っている。
	進路選択に応じた教育課程の研究・編成	1 生徒の適性や実態に合った改善がなされたか。	昨年度に選択帯の大きな変更があったため今年度は大きな変更は行わない予定。また大学入試制度改革に伴って新しい制度でのAO入試、推薦入試などにも対応できるような授業や総合の授業の在り方について議論を始めている。
進路指導	キャリア教育の充実と進路意識の高揚	1 健全な職業観育成のためインターンシップに積極的に取り組ませることや、進路講話・説明会の開催により、生徒の進路意識を高揚させることができたか。進路意識を高める総合学習になるよう研究・実践できたか。	インターンシップについては、今年度も夏季休業期間中に2学年全体で取り組むことができた。進路ガイダンスについては各学年1回実施した。学年集会等で進路講話を行い、生徒の進路意識を高めることが出来た。総合学習においてそれぞれの学年に適した内容を盛り込み、生徒の社会人基礎力と進路意識の向上を図ることが出来た。
	多様な進路希望の実現	1 3年間を見通した進路指導計画を作成し、一人一人の希望進路実現に向けてきめ細かく支援することができたか。科目選択のガイダンス指導は適切にできたか。各種模試や補習を計画実施し、生徒の多様な進路希望にも対応することができたか。	個人面談を中心にして一人ひとりの進路希望に沿った支援を行った。学力向上と、進路意識を高めるため校外模試を計画的に行った。3年生は4月から、2年生は5月から週1回、1年生は10月から週2回の進学補習を行った。また3年生就職希望者に対して4月から9月まで毎日補習を行った。また、夏季休業中には1、3年生において夏期補習を実施した。昨年同様、私費で進路支援員を配置し対応した。
	進路指導における校内連携および保護者との連携の強化	1 係・学年にとどまらない全校職員による進路指導体制を確立し、保護者に対しても情報提供、個別懇談や相談を行う機会を設けることができたか。	インターンシップでは全職員の協力のもと準備が進められた。必要に応じて就職希望者との保護者懇談会に進路指導係が同席し、必要な情報を提供し進路指導の方針を共有した。PTA総会等の場で進路指導係からの情報を発信した。

教育活動	生徒指導	暴力・いじめを許さない指導の徹底	2	入学時の指導や様々な集会・講演会、HR指導などを通じて、暴力・いじめを未然に防ぐ指導が徹底できたか。	SNSへの書き込みによる反省指導が1件あった。いじめのアンケート実施や生徒との面談を通して実態を把握し、HRや、学年集会等で呼びかけを行ってきた。学年会、係会等で気になる生徒について報告をし合い、職員間での共通認識をもつようになった。
		交通安全指導の徹底	2	交通安全講習会、自転車点検、HR指導などを通じて、いのちの大切さと交通安全に対する意識を高めることができたか。	交通安全講習会等で交通安全への意識が全体的に高まっている。千曲署や、交通安全教育支援センター、MAXに協力をしていただき、予定通り、自転車安全教室を2回実施することができた。今年度は事故が3件と例年より少ない。
		校内外における生徒の規範意識涵養	1 2	1 校内巡視・学校生活態度改善カード活用で、生徒の授業に取り組む姿勢を向上させることができたか、また、校外巡回指導により、駅・列車内・通学路での生徒のマナー向上が実現できたか。	駅や通学路でのマナーは向上してきており、地域のパトロールの方からも、よくなってきたと言われた。校内巡視を行ったり、今年度から、貴重品はロッカーに入れて鍵をかけるよう、呼びかけを行ってきたが、1日で複数の現金盗難が発生し、警察が入った。遅刻者についても昨年より減少傾向にあるがまだ多い。全体的には問題行動が少なく、落ち着いた学校生活を送ることができている。
		多様な悩みやトラブルを抱えた生徒に対する相談・支援体制の充実	2	係・学年の連携のもとでスクールカウンセラーや支援員などを有効に活用して、生徒や保護者に適切な支援と指導を行うことができたか。	今年度もスクールカウンセラーの活用で、生徒自身だけでなく保護者に対しても適切な支援ができた。今後スクールソーシャルワーカーの先生に関わってもらう事により支援会議等、適切な支援をしていきたい。
生徒の自主活動	[生徒会活動] 生徒が主体的に活動する	3	適切な助言、指導を行い、自発的な生徒会活動を通して生徒の成長を促すことができたか。	生徒の主体性を尊重しながら各行事で適切な助言や指導ができている。今後は各委員会活動が全校生徒に知られるように広報することで、委員に達成感を与えたい。	
	[クラブ活動] クラブ活動の活性化	3	クラブ活動加入者を増やし、生徒の自主的な活動に適切な指導ができたか。	学校全体のクラブ活動の活発化を図るため、クラブオリエンテーションや壮行会を実施し、新入生にクラブへの加入を呼びかけ、例年よりクラブ加入率は上がった。今後は部室の管理や整頓の徹底を促し、部や同好会の活動を把握してクラブの再編を検討しなければならない。	
学校運営	開かれた学校づくり	地域との連携と情報提供	3	生徒会活動の一環として地域の諸行事に参加し、地元の方々との信頼を築くことができたか。	屋代地区の側溝掃除・お田植え祭り・千曲夏祭り・森將軍塚祭りなどの地域行事に、今年度から執行部だけでなく各委員やクラブ員、一般生徒の参加を促している。これにより一部の生徒だけでなく、多くの生徒が地元との交流を深めている。今後も地元の方々の声を聞き、愛される学校を目指す。また、生徒には郷土を愛する心が育つように指導していく。
			1 2 3	地域の教育力を様々な場面で活用することができたか。	ライフデザイン科の授業を中心に社会人講師を招聘し、生徒の学習意欲と関心を高めるべく取り組んでいる。
			1 2 3	HPや学校通信等を通じて、本校の活動に関する情報をわかりやすく提供しているか。	1学期および2学期前半の学校生活の様子を、ホームページ及び学校通信にて発信していきたい。
	校内研修	保護者への情報提供	1 2 3	HPや学校通信等を通じて、本校の活動に関する情報をわかりやすく提供しているか。	担任および学年に負うところが大きい、マメールの活用は進んでいる。
			1 2 3	保護者による評価・学校関係者評価をもとに教育活動の改善を図れたか。	7月に第1回授業評価を実施。12月に保護者による学校評価を実施する予定である。
			1	学習指導及び進路指導充実のための研修会を実施できたか。授業改善のための公開授業・研究授業を実施できたか。	経年研に関わる研究授業を11月、授業改善のための職員研修を2月に計画し準備中である。
	安全管理	校内の危機対応の周知徹底	2	多様化する生徒を理解し、人権意識を高めるための研修会を実施できたか。	10月末に外部講師を招聘しての職員研修会を実施する。
			2	綱紀粛正に努め、信頼される教職員集団として活動するための研修を実施できたか。	県からの通達について、そのつど職員会で学校長より職員に注意喚起している。また非違行為防止委員会を7月に開催し、非違行為防止チェックリストを活用して自己点検をした。学校医からの意見をいただきながら研修を進めたい。
			2	生徒の安全な学習環境を維持することができたか。	北校舎の暑さ対策として、ミストファン、冷水器を購入した。安全衛生委員会の点検も含め、補修個所の早期修繕に取り組んでいる。
	2	緊急時対応の方策を確認するなど、危機管理意識を高める取り組みができたか。	年度当初に危機管理マニュアルの読み合わせ確認を実施した。防災訓練では、事前に生徒に予告しない形態をとり、さらに昼休みに実施する形態で企画している。		